

音楽科 年間指導計画（1年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力								現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力						
		＜言語能力＞								＜自分づくり＞						
音楽科と関連付けた 資質・能力		感じたことを言葉にする力		豊かな表現を工夫する力						主体性・積極性		他者の考えや思いに対する受容性				
		相手の思いを受け止めて聴く力		伝え合うことで集団を発展させる力						自分らしさを発揮しようとする姿勢		自己肯定感				
		伝え合うことで自分の考えを深化させる力								伝え合うことで自分の考えを深化させる力						
学習指導要 領における 目標	知識及び技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。														
	思考力、判断力、表現力等 学びに向かう 力、人間性等	・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。														
		・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。														
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計				
1年	中学校の音楽の学習について	校歌を覚えよう 思いをこめて歌おう	音楽の特徴に注目しながら情景を思い浮かべよう	音のつながり方の特徴を伝えよう	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	日本の歌のよさや美しさを 感じ取って、 歌唱表現を工夫しよう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	日本に古くから伝わる音楽に親しみ、その魅力を味わおう	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って魅力を味わおう	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	イメージと音楽との関わりを感じ取る	標準授業時数：45h
	配当時間	2	2	3	2	3	4	5	2	3	3	4	2	2	4	
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 ～知識～ 【歌唱】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 【器楽】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり 【音楽づくり・創作】について理解すること (ア)音のつながり方の特徴 (イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 【鑑賞】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ)我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 ～技能～ 【歌唱】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 【器楽】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 【音楽づくり・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること														
	思考力、判断力、表現力等	〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の間を繋ぐことを知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること 【歌唱】について ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること 【器楽】について ・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること 【音楽づくり・創作】について ・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること 【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性														
	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。														
内容（教材）	オリエンテーション	校歌 We'll Find The Way	和声と創意の試み第1集「四季」	リズムゲーム	リコーダー「喜びの歌」「オーラリー」	大地讃頌	各クラス合唱曲	旋律をつくろう	浜辺の歌 赤とんぼ	魔王	聖者の行進 かつこう	箏曲「六段の調」	日本の民謡ソーラン節 アジアの諸民族の音楽	Edelweiss 君をのせて 涙そうそう 上を向いて歩こう	映画音楽を聴こう	
主題の目標	学習の目標を確認し、年間の学習内容を把握する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	音楽の基礎事項を理解し、反復、変化などの構成や全体のまとまりを生かして創意工夫して表現する。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解して歌う。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、音楽の多様性について理解して聴き、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。		

音楽科 年間指導計画（2年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力							現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		<言語能力>							<自分づくり>					
音楽科と関連付けた 資質・能力		感じたことを言葉にする力 相手の思いを受け止めて聴く力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力							豊かな表現を工夫する力 伝え合うことで集団を発展させる力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力					
学習指導要 領における 目標	知識及び技能	・曲想と音楽の構造や背景などの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。												
	思考力、判断力、表現力等	・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。												
	学びに向かう力、人間性等	・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。												
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10・11月	12月	1月	2月	3月	時数合計			
2年	年間の学習を把握しよう	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	音階や言葉、音のつながり方を理解して、創作表現を工夫しよう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	標準授業時数：35h
	配当時間	1	3	3	3	3	4	3	2	2	3	3	2	
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	【共通事項】 音楽を形づくっている要素およびそれらに関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 ～知識～ 【歌唱】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 【器楽】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり (イ)器楽の音色や響きと奏法との関わり 【音楽づくり・創作】について理解すること (ア)音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴 (イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 【鑑賞】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ)我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 ～技能～ 【歌唱】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 【器楽】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 【音楽づくり・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること												
	思考力、判断力、表現力等	【共通事項】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えること 【歌唱】について 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること 【器楽】について 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること 【音楽づくり・創作】について 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること 【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性												
	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。												
内容（教材）	オリエンテーション	翼をください 夢の世界を 夏の思い出	フーガ ト短調	リコーダー 「アニー・ローリー」 「虹の彼方に」	各クラス合唱曲	各クラス合唱曲	My Melody	交響曲第5番 八短調第1楽章	リコーダー「ラ ヴァースコンチェ ルト」	荒城の月 サンタルチア	歌舞伎「勧進帳」	歌劇「アイーダ」	Joyful, Joyful やさしさに包まれたなら	
主題の目標	学習の目標を確認し、年間の学習内容を把握する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かして音楽をつくる。	音階や言葉、音のつながり方や構成上の特徴について理解して、それらを生かして音楽をつくる。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	

音楽科 年間指導計画（3年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力						
		＜言語能力＞						＜自分づくり＞						
音楽科と関連付けた 資質・能力		感じたことを言葉にする力 豊かな表現を工夫する力 相手の思いを受け止めて聴く力 伝え合うことで集団を発展させる力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力						主体性・積極性 自分らしさを発揮しようとする姿勢 伝え合うことで自分の考えを深化させる力						
学習指導要 領における 目標	知識及び技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。												
	思考力、判断力、表現力等	・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。												
	学びに向かう力、人間性等	・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。												
月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2・3月	時数合計		
3年		オリエンテーション	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	仲間とともに、表情豊かに合奏しよう	音階や和音進行、伴奏などの特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	仲間とともに表情豊かに合奏しよう	標準授業時数：35h
配当時間		1	3	3	3	3	4	4	2	3	2	3	4	35
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	【共通事項】 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わりを理解すること。 ～知識～ 【歌唱】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 【器楽】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり 【音楽づくり・創作】について理解すること (ア)音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴 (イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 【鑑賞】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ)我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 ～技能～ 【歌唱】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 【器楽】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 【音楽づくり・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること												
	思考力、判断力、表現力等	【共通事項】 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考えること 【歌唱】について 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること 【器楽】について 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること 【音楽づくり・創作】について 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること 【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性												
	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。												
内容（教材）		オリエンテーション	花	ブルタバ	ピアノソナタ第8番「悲愴」	大地讃頌	橘響祭クラス合唱曲	My Melody	ボレロ・能	威風堂々	Let It Be Amazing Grace	ルールを守って音楽を楽しもう ポピュラー音楽を聴こう	旅立ちの日に 卒業式の歌	
主題の目標		学習の目標を確認し、年間の学習内容を把握する。	歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	音階や和音進行、伴奏などの特徴を生かして、それらの味わいを感じながら表現を工夫して旋律をつくる。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりや曲の背景について理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。		